

富谷小だより

渋谷区立

富谷小

(富小ホームページ) <http://home.h08.itscom.net/tomigaya/>

「夢づくり、人づくり、自分づくり」をテーマとして

校長 小澤 良一

4月1日付で本校に着任いたしました、校長の小澤良一(おざわよしかず)です。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

渋谷区では、千駄谷・常盤松・幡代の各小学校に合わせて12年間勤務した後、豊島区・町田市各教育委員会、八王子市立長池小学校長を経て11年振りの渋谷区勤務となります。

15年ほど前に何度か富谷小学校を訪問させていただきました。玄関のステンドグラスや池など当時と変わらない様子もありますが、校庭や学習情報センターなど学校の様子が変わっていることに驚いております。

「富谷っ子」が集い学ぶ姿を楽しみにしております。

校長としての私のテーマは、「夢づくり」「人づくり」そして「自分づくり」です。

「夢づくり」…子どもは、自らが「人」として成長したいと言う強い欲求「夢」が本来あります。知識をより多く獲得したいとする欲求、より多くの友だちと関わりながら学び生活したいとする欲求、これまでできなかったことができるようになりたいとする欲求などです。

そんな欲求を教師は勿論のこと、保護者、地域の方々の大きな力があって児童の「夢」を現実の姿としていく、そんな「夢づくり」に取り組んでまいります。

「人づくり」…人間が「人」となるためには、自分以外の他者との関わりが欠かせません。友達との遊びや様々なトラブル、学習の場での話し合いや協働、係活動や委員会活動、地域清掃などを通しての奉仕活動など、関わりの中で「人」となるものと思います。

児童は、友達やその保護者、そして地域の方々と関わる場面の中で「人」としての在り方を模索するものと考えております。そんな場面づくりを通して「人づくり」に取り組んでまいります。

「自分づくり」…誕生日が違うように、児童一人一人の学習や友達とのコミュニケーション能力などには、それぞれに発達課題があります。発達が早い、遅い、あるいは優劣を言っているのではありません。それぞれの児童が持っている課題を教師や保護者、地域の方々の指導や援助があって、児童自身が乗り越える時、初めて「自分づくり」になるものと考えます。

それぞれの児童にどんな発達課題があるのか、児童の様子を御家庭で見ている保護者だけでも、そして学校で見ている教師だけでも十分に捉えることはできません。そこでの連携は欠かせません。様々な連携を組み合わせ児童の「自分づくり」に取り組んでまいります。

(次頁に続く)

校長になった当時は、学習活動の状況を参観するために1年生の教室に入ると「校長先生」と言いながら私の手を取ったり、時には間違っ「パパ」と言ったりする児童もいました。しかし、最近になりますと「おじいちゃん」と間違っ呼ぶ児童も現れるようになりました。『そんなに歳をとったのかな』と思う反面、私自身が子どもたちを自分の孫のように感じる瞬間があることに気がきました。ただ子どもが居ることが可愛くて仕方がない自分に…これは校長の特権かもしれませんが…

今日から始まる「富谷っ子」との出会い4月1日から楽しみにしておりました。そして保護者の方々や地域の方々との出会い胸弾む思いがいたします。どうか富谷小学校のために、これまでも増して大きなお力をいただければ幸いです。どうかよろしく願いたします。

平成20年度 富谷小学校 校務運営組織表

担任等

校長 小澤 良一		副校長 伊藤 祥子		主任	
1の1	島野 歩	1の2	小野 婦喜子	算数	八木田 修
2の1	十時 琴恵	2の2	加藤 貴子	音楽	竹石 由美
3の1	薄井 智美	3の2	亀井 康太	図工	和久山 眞利子
4の1	鈴木 優子	4の2	岡 一彦	保健	森 伊智代
5の1	松本 裕子	5の2	笠井 裕子	学習指導員	飯嶋 豊
6の1	笹原 天平	6の2	奥田 奈緒子		
いずみ学級	大澤 美代子 大浦 宗博(補助員)		佐々木 彩子	大前 郁代(講師)	
都講師	青木 庸子		相良 幸孝	尾形 香里	
スクールカウンセラー	高野 智子				
事務	後藤 尊文		前田 京子		
用務	武藤 一成		中山 えい	鈴木 悟	
給食	應 時泰	植野 浩	山下 和男	武者マナミ	太田 英雄
学童	矢口 千鶴子 (シルバー-人材センター)山口 一郎 古賀 晴夫 君塚 貞夫 市川 昭五郎				

学校医

内科	井上 荘太郎
眼科	小林 修
耳鼻咽喉科	陣内 賢
歯科	松原 正治
薬剤師	青沼 弥江子

